

## 企業の社会的責任(CSR)

荏原グループ行動基準を役員、社員一人ひとりが実践することによって企業の社会的な責任を果たします。様々なステークホルダーと良好な関係を保ち、環境に配慮しながら、社会、産業、暮らしに役立つお客様から信頼される製品、サービスを提供し続けます。また、国連グローバル・コンパクトを支持し、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を実践します。当社グループのCSR活動は荏原グループCSRレポートで毎年報告しています。

### 社外評価に裏付けられたCSR活動

当社は世界的なSRIインデックスである「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」、「FTSE4Good Index Series」に継続採用されています。さらに、2011年には日本のSRIインデックス「モーニングスター社会的責任投資株価指数」にも採用されました。環境問題、人権問題、顧客対応、地域貢献活動などに積極的に取り組むとともに、安全・安心で快適な社会を支える事業活動を通じて、社会の持続的な発展に寄与していることが認められた証です。



FTSE4Good



### 荏原グループ行動基準

企業理念を達成するための役員、従業員一人ひとりの行動規範として「荏原グループ行動基準」を定めています。日本国内のグループ会社はこの基準に即して活動しています。各国グループ会社は、自国の法令を勘案して、「荏原グループ行動基準」に準じた基準を設けて実践しています。

#### <企業理念>

「水と空気と環境の分野で、優れた技術と最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献する。」

#### <荏原グループ行動基準骨子>

- 優れた製品とサービスをグローバルに提供する。
- 環境に配慮した事業活動を行う。
- 法令・社会規範を順守する。
- ステークホルダーと良好な関係を維持する。
- 経営者、従業員はそれぞれの責務を果たす。

## 人権の尊重

ILO国際労働基準を基本とし、顧客、取引先、市民、従業員をはじめとするステークホルダーの人権を擁護し、尊重します。2011年度にグループ従業員に対して行ったCSR研修では人権の定義を解説し、職場における人権侵害行為の予防や対応について理解を深めました。

## 労働慣行

日本の内閣府が提唱している、ワーク・ライフ・バランスの実現にむけた活動を行っています。毎週水曜日をノー残業デーとし、2010年9月よりその徹底を強化しています。また、2011年度には、出産・育児の休暇制度を改定しました。「配偶者の出産・育児休暇」を設け、休暇日数の増加と期限の延長を行い、男性社員の育児への積極的参加を促すようにしました。

## 環境保全

“事業活動を通じて自然と技術が調和する社会を目指す”、“技術、製品、サービスを通じて地球環境の保全に努める”ことを荏原グループ環境ビジョンとし、2020年までの目標を掲げて環境保全活動を実践しています。定期的な環境監査を実施するとともに、社内設備の工事に伴う環境リスクの回避と最小化を目的として環境審査を実施しています。また、高効率のポンプや冷凍機、太陽電池製造用ドライポンプの設計改良など、環境配慮型製品の提供に努めています。

## 腐敗防止

国内外を問わず、国や地方公共団体などの役職員への贈賄はもちろんのこと、営業上の不正な利益の獲得、もしくはビジネス上の便宜供与の対価として金銭等の賄賂の授受は一切行わないことを荏原グループ行動基準に定め、実践しています。

## 社会貢献活動

「畠山清二記念荏原基金」を通じて20年以上にわたり、東南アジアを中心とする国々のエンジニアや学生に当社の技術を生かしたセミナーを開催しています。2011年度はタイのアジア工科大学、ベトナムのハノイ工業大学など6箇所で開催し、348名が参加しました。日本国内の事業所では、地域の小学校や市民、様々な大学の見学を受け入れています。